

プログラム

6月2日(木)

特別セッション

10:00~11:40 「海洋における化学物質のリスク評価」 座長：中田喜三郎(東海大)

- T1. GC/ICP-MS を用いた東京湾における有機スズ化合物の動態評価
○栗原龍(静岡県立大), Ramaswamy Babu Rajendran(産総研), 白石不二雄(国環研)
- T2. 船底塗料の代替防汚物質に関する有害性評価
○伊東永徳, 中根徹, 大川憲(SAT), 安井久二(日本海洋生物研究所),
中田喜三郎(東海大), 堀口文男(産総研)
- T3. 数値モデルによる CuPT の東京湾における生態リスク評価
○市川哲也, 江里口知己(中電シーティーアイ), 堀口文男(産総研), 中田喜三郎(東海大)
- T4. 伊勢湾におけるリスク評価モデルについて
○山本讓司, 堀口文男(産総研), 中田喜三郎(東海大), 桃井幹夫,
江里口知己(中電シーティーアイ), 中西準子(産総研)
- T5. 沿岸生態リスク評価モデルの開発
堀口文男(産総研), 中田喜三郎(東海大), ○山本讓司, 中西準子(産総研)

シンポジウム

13:00~17:30 「世界の沿岸環境を乱すプラスチック水—対策は可能か？」

- 趣旨説明 コンビナー 鋤崎俊二(日本海洋生物研究所)
- S1. プラスチック水問題の背景 福代康夫(東京大学アジア生物資源環境研究センター)
- S2. IMO の動向及び我が国の対応 村岡英一(国土交通省 海事局)
- S3. 諸外国のプラスチック水問題と対策 吉田勝美(水圏科学コンサルタント)
- S4. 船舶運行上の諸問題 油谷正彰(商船三井)
- S5. 流体力学等を用いたプラスチック水処理 菊池武晃(日本海難防止協会)
- S6. 高速濾過装置を用いたプラスチック水からのプランクトン除去 鋤崎俊二(日本海洋生物研究所)
- S7. 活性物質を用いたプラスチック水処理 華山伸一(日本エヌユーエス)
- 総合討論

17:30~19:00 懇親会

6月3日(金)

一般講演

09:30~11:30 一般講演1 海洋観測システム 座長 門馬大和(海洋研究開発機構)

- A1. 支援母船「よこすか」用 6000m 級ディープ・トウの政策と試験
○小椋徹也, 伊藤一寿, 橋本菊夫, 門馬大和(海洋研究開発機構)
- A2. 無人探査機「かいこう 7000」の開発
○中条秀彦, 村島崇, 吉田弘(海洋研究開発機構), 山内徳保, 瀬底秀樹(日本海洋事業)
- A3. TRITON ブイ運用の問題点と m-TRITON ブイの開発
○山口誠之, 伊藤淳雄, 石原靖久, 黒田芳史(海洋研究開発機構),
松本健寛(マリン・ワーク・ジャパン)
- A4. TRIRON ブイにおける生物付着調査について
○伊藤淳雄, 山口誠之, 石原靖久, 黒田芳史(海洋研究開発機構),
松本健寛, 松本恵佐(マリン・ワーク・ジャパン)

A5. 北太平洋時系列観測用の係留系設計と構築、並びに挙動解析

○伊代道(マリン・ワーク・ジャパン), 本多牧生(海洋研究開発機構)

A6. 海底堆積物コア試料の保管による変質過程モニタリング～帯磁率、含水比、有機炭素含有率、色彩などの中間報告～

○上野珠民, 杉山和弘, 近藤朋美, 石森麻純, 白石綾, 齋藤千鶴, 松浦由孝(マリン・ワーク・ジャパン), 松橋基(長崎大院), 青木美澄, 柏瀬憲彦(日本海洋事業), 畠山清, 片山健, 原田尚美(海洋研究開発機構)

11:40~12:20 総会・学会賞表彰

13:00~14:00 一般講演2 音響計測

座長 新家富雄(システムインテック)

A7. 干潟の海草藻場におけるジュゴンの摂餌行動モニタリング

○堤千華, 市川光太郎(京大院情報), 赤松友成(水工研), 荒井修亮(京大院情報), 新家富雄(システムインテック), 原武史(日本水産資源保護協会), Kanjana Adulyanukosol(タイ国海洋沿岸資源局)

A8. Performance Evaluation of Rotation Control and WEB Monitoring on Target Strength Pattern Measurements of Fish

○Ken Ishii, Koki Abe, Yoshimi Takao (NRIFE)

A9. アナログ式海底地層探査機のデジタル化について

○西村清和, 上嶋正人, 村上文敏(産総研), 佐柳敬造(東海大), 高遠美好(千本電機), 猪瀬昭治(ソリューションシステムズ), 竹内具佳(電通大名誉教授)

14:00~15:20 一般講演3 リモートセンシング

座長 原 政直(ビジョンテック)

A10. 若狭湾の赤潮発生に及ぼす海流の影響と赤潮自動検出について

○青山隆司, 船木俊宏(福井工大), 八木浩(ビジョンテック)

A11. いか釣り漁船における漁獲高と海洋環境の関係

○諏訪純(SEATECH), 原政直, 市塚正彦, 八木浩(ビジョンテック)

A12. ADEOS-II/AMSR と ADEOS-II/SeaWinds によって観測された海上風速データの相互比較

○江淵直人(北大低温研)

A13. Web を用いた地形図作成システムの開発 その2—地形図作成ホームページの作成と公開について—

○中本加奈, 秋山正寿, 井上りえこ, 益山忠(東海大海洋)

15:30~17:50 一般講演4 生態系モデル

座長 堀口文男(産総研)

A14. 干潟生態系モデルによる窒素循環の定量化～三河湾一色干潟における事例(その2)

○畑恭子(国土環境), 鈴木輝明(愛知県水産試験場)

A15. 内湾複合生態系酸素循環モデルの開発と東京湾への適用—干潟創生、浚渫・覆砂、流入負荷削減施策に対する自律的応答と赤潮に対する耐性の評価—

○相馬明郎(みずほ情報総研), 関口泰之(YS 環境情報事務所), 垣尾忠秀(みずほ情報総研)

A16. 干潟・浅海域堆積物表層における酸素マイクロプロファイルの新しい解析手法の開発

○垣尾忠秀, 相馬明郎(みずほ情報総研), 桑江朝比呂(港湾空港技術研究所), 関口泰之(YS 環境情報事務所)

A17. 瀬戸内海全域における流動解析

○石崎充, 中田喜三郎(東海大海洋)

A18. 2000 年度, 有明海に発生した珪藻赤潮発生機構に関する一考察

○釘宮秀友, 中田喜三郎(東海大海洋)

A19. 続成過程モデルによる沿岸域の堆積物中における物質循環

○山本祐也, 中田喜三郎(東海大海洋)

A20. 流速計の相互比較実験

○中田喜三郎(東海大海洋), 植田真司(環境科学技術研), 山本祐也, 釘宮秀友, 正木宏和, 大野創介(東海大海洋)